

## 第33回苫小牧フットサル総合選手権大会U-12の部予選 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、各チームとふれあいを深めるとともにフットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図る。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会
3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 後 援 苫小牧市、苫小牧市教育委員会、(公財)苫小牧市体育協会、北海道新聞苫小牧支社  
苫小牧民報社
5. 期 日 2022年12/17(土)
6. 会 場 苫小牧市総合体育館
7. 参加資格

### (1) フットサルチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

②前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手(6年生以下)であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

### (2) サッカーチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

②前項のチームに所属する2010年4月2日以降に生まれた選手(6年生以下)であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり4名までとする。

(3) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

## 8. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目につ

いては、本大会の規定を定める。

### (1) ピッチ

- ・大きさ：サイズは原則として、32m×16m
- ・センターサークル：半径2.5m
- ・ペナルティーエリア四分円の半径：5m
- ・ペナルティーマーク：5m
- ・第2ペナルティーマーク：8m
- ・交代ゾーンの長さ：4m
- ・タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m

### (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・フリーキック：4m
- ・コーナーキック：4m
- ・キックイン：4m

(3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。

### (4) 競技者の数

- ・競技者の数：5名
- ・交代要員の数：10名以内
- ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内

(5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。

### (6) 試合時間

①試合時間は24分間(前後半各12分間)のランニングタイムとする。

②ハーフタイムのインターバルは5分間とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

①引分けとする。

(8) タイムアウトは適用しない。

## 9. 競技方法

(1) 1 グループ 3~4 チームとして、8 グループでリーグ戦（総当り戦）を行う。

(2) 各グループ 1 位の 8 チームが本大会（決勝トーナメント）に進出する。

(3) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(4) リーグ戦における順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム間の対戦成績
- ② 当該チーム間の得失点差
- ③ 当該チーム間の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告 1 回 1 ポイント

(イ) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント

(ウ) 退場 1 回 3 ポイント

(エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント

### ⑦ PK戦(5人)

## 10. 懲 罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(2) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。

(3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公試合にて消化する。（第32回苫小牧フットサル総合選手権大会U-12の部決勝トーナメント進出チームはこの大会で行うこと）。ただし、警告の累積によるものを除く。

(4) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会が決定する。

11. 組合せ 組合せは苫小牧地区サッカー協会第4種委員会代表者会議において抽選し決定する。

## 12. 帯同審判

(1) 帯同審判制とし、帯同審判員のいないチームの参加は認めない。

(2) 参加チームは、公認審判員（フットサル 4 級以上）を 1 チームにつき、1 名以上を必ず帯同させることとし、その氏名を参加申込書に記載すること。

(3) 帯同審判員の重複申込（同一人物）は認めない。

(4) 帯同審判員は、役員と兼ねることができる。

(5) 帯同審判員は、大会終了までその業務にあたらせるものとする。

## 13. 競技者の用具

### (1) ユニフォーム

① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を各試合に必ず携行すること。

② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩で、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

④ シャツの前面、背面に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

⑤ 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。フィールドプレーヤーは 1 番をつけることができない。必ず、登録された選手固有の番号を付けること。

⑥ ユニフォームへの広告表示については、（公財）北海道サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の

経費は当該チームにて負担することとする。

⑦その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

⑧不測の事態の場合、GK のピブス対応を可とする。(味方・相手チーム競技者と判別の付く色でプレーさせる)

#### (2) 靴

靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。

#### (3) ピブス

交代要員は、競技者と異なる色のピブスを用意し、着用しなければならない。

14. 監督会議 監督会議は開催しない。

15. 開会式 開会式は開催しない。

16. 表彰及び表彰式 本予選は決勝大会進出チーム決定のため実施されるので、表彰はしない。

17. 負傷及び事故の責任

(1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具

の準備は各チームの責任において行なうこととする。

(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

18. その他

(1) マッチコーディネーションミーティング

マッチコーディネーションミーティングは行わない。

(2) 電子選手証等 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または選手証(写真が貼付されたもの)を、監督会議及び試合会場に持参すること。いずれかが確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。

(3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。

(4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

(5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。

(6) 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ)については、チーム責任とする。

(7) 代表チームには、本大会の参加を義務付ける。

(8) 決勝トーナメントに関する事項は、苫小牧地区サッカー協会が別途大会要項を定めるので、それらを遵守すること。

(9) 試合が行われる際ライセンス保持者が1名以上ベンチ入りすることを義務付ける。

(10) 大会運営時、万が一要綱に不備が見つかった場合や解釈の曖昧さが有った場合等の不測の事態においては大会運営責任者(4種委員長)の判断で進行する事とする。

(11) 例えば地区へ2チーム登録、Aチーム8人、Bチーム8人で登録したが当日までにAチームに欠員が出て4人になる。その時Aチームを棄権とするよりBチームから1~2人移動させて参加可能の方が好ましいと考える。

よって大会当日にメンバー表提出、地区への申し込みに登録されている選手である事の確認のみでA、Bの属は問わない。ただし大会開始後の移動は認めない。

19. 新型コロナウイルス関連

①今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。

②本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。

また、試合前に各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。

③別に定める「感染対策マニュアル」を遵守すること。なお今後の行政による指示や対応によっては、本大会を中止する場合がある。

④中止となった場合は、協議の上対応とする。

⑤大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインやチェックリストに沿って行

動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者がでた場合は本大会運営委員会において、協議のうえ対応する。

⑥コロナ感染防止の関連書類は開催期間の間提出する事。

- ・メンバー表3部
- ・健康チェックシート（体温表）指導者・選手分
- ・観戦者リスト（有観客の場合。様式はありません。）

⑦コロナ等の状況により、『全道フットサル選手権大会予選』が開催不可となった場合、本大会の結果を用いて苫小牧地区代表チームを決める可能性がある。

## 20.フィールドの大きさ

